

令和2年度 第1回 大阪府立千里高等学校 学校運営協議会 レジュメ

○青字→委員よりいただいたご意見等 ●赤字→事務局からの回答

1. 学校長ご挨拶

いつもお世話になっております。本来でしたらお会いしてきちんとご挨拶すべきところですが、このような状況ですので、書面にて失礼いたします。この度のコロナウイルス感染症につきましては本校も学習の保障及び行事の精選等で大変苦慮しております。ただ本校の2本柱である進路実現と豊かな人間性の育成という目標はしっかりと達成していこうと思っております。昨年度は皆様方のご助言もありまして15年ぶりに国公立大学合格者数90名以上という実績を残しました。今年の3年生もさらなる飛躍を期待しております。どうぞ、今後ともご指導のほど、よろしくお願い致します。

2. 委員紹介及び事務局紹介

(1) 本年度の委員の皆様

氏名(五十音順)	所属
大森 万峰子	本校 学校薬剤師
小林 太郎	吹田市立竹見台中学校 校長
高木 学	(株)江坂-起業家支援センター 代表取締役
橋本 和正	本校 後援会 会長
花岡 茂	本校 P T A 会長
和田 良彦	大阪教育大学 副学長

(2) 本年度事務局

氏名	校務分掌
山下 尚紀	教頭(事務局長)
青枝 久仁子	事務長
大西 千尋	首席
本間 直也	首席 進路指導主事
渡邊 肇	指導教諭 国際科学教育部部長 国際文化科科長
西澤 淳夫	総合科学科科長
小寺 智子	S S H主担当
柏原 留美子	教育情報部部長(書記)

3. 会長選出

「実施要項」には「第9条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により選出する。」とあります。特に立候補をされるという意思表示がございませんでしたら、事務局として昨年度に引き続き、和田良彦様に会長をお勤めいただきたくご推薦申し上げます。

● 過半数の委員の方からお返事をいただき、特に異論はなかったことから、ご承認いただけたとします。

#### 4. 報告

##### (1) 51期生の進路状況について

動画によるご説明 非公開 (動画約10分)

- 国公立大学の合格者が増加したこと、とても嬉しく思います。今年度は1名でもこれを上回るようよろしくお願いいたします。
- ありがとうございます。今年の3年生も模擬試験においていくつか良い兆候も見られることから引き続き、進路実現に取り組んでまいります。

##### (2) SSH等の取り組みについて

- SGHについては満了を迎えたため、事業としては終了したが、これまでの活動によって得られた経験や取り組みは、「探究」などの取組の中で活かしていく。事業に付随していた予算がなくなったため、全員対象の活動では学年費から支出し、希望者対象の国内外研修ではPTAや後援会様のご援助をいただいているが、若干の規模の縮小は致し方ない。
- SSHは第二期の4年目を迎え、第二期の「グローバルな課題を解決する21世紀型科学者の育成プログラム」という事業目的の仕上げと、第三期への継続についての校内環境の醸成を本年度の行動目標とする。  
具体的には、SSH事業を主体的に進めるコア生徒(Future Scientist Group : FSG)の育成プログラムにおけるルーブリック評価の研究と、この育成プログラムを「科学探究基礎」や「科学探究」といった本校のカリキュラムを質的に引き上げる要素として位置付ける研究を進める。  
また、第三期に向けては、一部の教員、一部の生徒の取組とならないよう、学校全体で千里高校の事業として取り組む環境づくりをめざす。
- 校内体制として、首席が2名となり、そのうちの西首席がSGH 主担を外れたことにより、その経験を活かしてSSH や関西学院大学や大阪教育大学とのWWLCを含む外部連携の主担とし、SSH やSGH の経験の統合を図り、国際文化科の「探究」と総合科学科の「科学探究」の両方で活かせるようにした。
- 引き続き活発的な活動を期待しております。SGH は満了を迎えたとの事ですが、過去にSGH として活動された取り組みを活かしていただければと思っております。
- SGH の取組は引き続き国際文化科の「探究」で活かしてまいります。また、SGH で培ったノウハウをSSH の取組にも応用していく所存です。

##### (3) 臨時休校中のオンライン授業の取組について

動画によるご説明 <https://youtu.be/CthvJv7kjQ8> (動画約10分)

- 生徒が取り組みやすいようにフォーマットを統一されるなど、細かい配慮をしっかりとされて見やすいものとなっていますが、このようなノウハウは何か参考になるものがあったのでしょうか。
- 特に参考としたものはなく、ゼロベースで作成いたしました。  
「直接顔を合わせられない以上、指示はなるべく明確にわかりやすく」という方針のもと、作成しました。その方針を進める中で、「同一フォーム、同一タイミングでの指示」

ということも出てまいりました。

- 6月15日までに100%目標とありましたが、このオンライン授業実施に向けて、多くの先生方に協力を得るための組織はどのようにして進められたのでしょうか。
- オンライン授業について、フォーマットの統一など基本的な方針、授業実施状況の取りまとめ等は、「企画調整会議」のなかで休校中の学習保障の議論の中から提案されました。それを受けて、ICT管理推進委員会が主となってオンライン授業のノウハウを教職員に広め、環境整備をしました。
  
- オンライン授業に関しては、千里高校は以前より先陣を切ってタブレットを採用されていたので少し安心はしていましたが、動画を拝見して、準備の大変さや生徒の質問や課題に対する返信の多さを思うと並大抵なことではなかったと思います。苦手な先生はともにご苦労されたと思います。また、双方向のやりとりを重要視されているのが素晴らしいと思いました。
- ありがとうございます。本校は生徒全員がタブレットPCを持っていて、授業に活用しているというICT先進校ではありますが、実際のところは活用されている教科に偏りがあるなど、教員全員が活用できているという状況ではありませんでした。しかし、オンライン授業をする必要性もあり、教員間で自主的な講習会や技術的な情報交換を頻繁に行い、苦手な先生も巻き込んで取り組みました。
  
- 寝ていたり、他のことをしていたり、授業に集中できていない生徒が少なくありません。オンラインだとそれも解消されるのではないのでしょうか。また、授業についていくことが出来ないため不登校になる生徒さんに対しても、双方向のやり取りがあれば早い段階で気付いて対処できる可能性も出てくるのではないかと思います。不登校ゼロの千里学校も見てみたいです。
  
- 保健室前に質問スペースがありますが、オンラインを活用すれば、もっと多くの生徒が質問する機会を得られるのではないのでしょうか。
  
- 折角タブレットを導入しているのですから、今回の経験を活かして昨年とは違った取り組みをしていただきたいと思います。
  
- 期せずして、コロナ禍のために、加速度的に利用が広まった、オンライン授業ですが、第2波への備えとしてはもちろんですが、ご指摘いただいたように平常時においても有意義な利活用法がないか、検討してまいります。
  
- 休校中のオンライン授業につきまして、全員にタブレット配布されているのでスムーズにオンライン授業が行われた事にPTA委員から評判が良かったと聞いております。
- ご指摘のように本校ではあらかじめ、タブレットを利用する取り組みがあったので、このような事態にも迅速に対応できたと思っております。

#### (4) 令和2年度使用教科書の選定作業について

例年同様、各教科に選定を依頼。各教科は選定理由を付して選定結果を報告してくる予定。選定結果については、次回学校運営協議会においてご報告いたします。

### 5. 協議

#### (1) 令和2年度学校経営計画について

上記の報告と絡めて御覧おきください。

- 令和2年度学校経営計画につきまして、コロナ禍での学校の取り組みも考慮頂け事をお願いできればと思います。
- 裏面の「確かな学力の・・・」欄の成果指標についてですが、海外研修7回とありますが、今年度はコロナの件があり、無理だと思いますので、指標から削除しておいてはどうでしょうか。
- 本年度は年度当初よりコロナ禍による臨時休業などもあって、行事予定的には大きく変わったところもありますが、経営計画に載せている計画は変えることなく、残された時間の中で達成に向けて努力をいたします。
- ただ、ご指摘いただいたように海外研修の多くは中止をせざるを得ないため、「7回」は達成不可能かもしれません。今後達成状況をご報告申し上げるときに、目標をどのように修正して、達成をめざしたかということも合わせてご報告いたします。
- 「豊かな人間性の涵養」の欄の(2)ですが、講演を聞くなど受け身的な内容になっています。例えば、学校周辺の清掃や、周辺の小中学校で児童生徒と交流をするなど、外に向かっていく取組みは考えられないでしょうか。
- ご指摘いただいた通り、受け身だけではなく能動的な活動の取り組みも重要であると考えます。昨年度「探究」の中で「フードロス」の問題に取り組んだ生徒たちが学校食堂において、「Table for Two」の取組をしたという事例があります。これからも「探究」「科学探究」を核にして外とのつながりの機会を増やすように工夫をしていきたいと思っております。

### 6. 事務連絡

次回は10月頃に第2回実施予定(詳細は追って連絡差し上げます)

### 7. 学校長より

動画視聴及びメール等によるご審議ありがとうございました。これまで本校が培ってきたICTの活用がこの緊急性の高い時期に実ったことを嬉しく思っております。第2波に備えて万全の準備をしたつもりですが、今後予測不可能な事態が生じることも考えられます。委員の皆様方のお知恵を拝借しながら学校運営を遅滞なく進めてまいりますので、どうぞ、今年度もよろしくお願い致します。